

### 3 タンク検査済証の記載要領

#### 1 「水張又は水圧検査の別」の欄

- (1) 当該貯蔵タンクの最大常用圧力の絶対値が、5kPaを超えるものにあつては、「水圧検査」と記載し、5kPa以下のものにあつては、「水張検査」と記載すること。
- (2) 「水張」、「水圧」の記載のあとに検査実施年月日を記載すること。  
 (S52.3.30消防危第56号)  
 (参考) 水柱500mm=500mmAq=5kPa=36.765mmHg  
 (記載例) 水張検査  
 (検査実施年月日 ○年○月○日)

#### 2 「検査圧力」の欄

- (1) 当該貯蔵タンクの最大常用圧力の絶対値が、5kPaを超えるものにあつては、次により記載すること。
- ア 検査圧力は、最大常用圧力の絶対値の1.5倍とすること。(表1の計算例参照)
- イ 検査圧力の数値は、アの計算結果の数値に小数第2位以下の端数があるときは、これを切り上げて小数第1位までとすること。
- ウ 検査圧力の単位は、kPaであること。

表1 検査圧力の計算例

No.	最大常用圧力	計 算 式	検査圧力
1	15.5kPa	$15.5 \times 1.5 = 23.25$	23.3kPa
2	-10kPa	$ -10  \times 1.5 = 15$	15kPa
3	0.5MPa	$0.5 \times 1.5 = 0.75$	0.8MPa
4	1MPa	$1 \times 1.5 = 1.5$	1.5MPa
5	-0.7MPa	$ -0.7  \times 1.5 = 1.05$	1.1MPa
6	F.V. (完全真空)	$ 0-760  \times 13.6 \times 9.8 / 1000 \times 1.5 = 151.9$	152kPa

- (2) 貯蔵タンクの最大常用圧力の絶対値が、5kPa以下のものにあつては、「常圧」と記載すること。  
 ただし、地下貯蔵タンク、簡易貯蔵タンク及び移動貯蔵タンクについては、最大常用圧力が46.7kPa未満のものをいう。

#### 3 タンクの構造の「形状」、「寸法」、「材質記号、板厚」及び「容量」の欄

表2 タンク検査済証記載例及び次に掲げる事項を参考にして記載すること。

##### (1) 「材質記号、板厚」の欄

ア 各部材の材質が同一であるときは、次の例により記載する方法もあること。

上部鏡板 5mm  
 SS400 側板 6.5mm  
 下部鏡板 6mm

イ 各部材の材質が同一であるときは、次の例により記載する方法もあること。

SUS400 側板, 上部・下部鏡板 6mm

ウ タンク内面にライニング施工されているもの

(ア) 一部に施工されているもの

蓋板 SS400 6mm, ライニング SUS304L 2mm

側板 SUS304L 6mm

下部鏡板 SUS304L 6mm

(イ) 全面に施工されているもの

胴板 SS400 6mm

鏡板 SS400 6mm

ライニング SUS304L 2mm

エ タンクに二重板が使用されているもの

天板 (内部) SUS304 2mm , (外部)SS400 6mm

側板 SUS304 2mm

下部鏡板 SUS304 2mm

オ 側板の板厚が複数ある場合は、最小厚さ及び最大厚さを記載することができるものであること。

カ ジャケットの材質及び板厚の記載は、必要ないこと。

キ 中仕切タンクは、(3)によること。

(2) 「容量」の欄

ア 許可容量を記載すること。

なお、他行政庁の許可にかかる貯蔵タンクの場合は、申請者が完成検査前検査申請書に記載した容量とすること。ただし、この容量は、規則第2条及び第3条を満足するものであること。

イ 単位は、kℓ 又はℓ とすること。

なお、固体の危険物を貯蔵する場合は、kgを併記すること。

(3) 中仕切タンクの記載要領

ア 「形状」及び「寸法」の欄は、表2の例によること。

イ 「材質記号, 材質」の欄には、仕切板の材質記号及び板厚も記載すること。

ウ 「容量」の欄は、タンク全体の許可容量を記載し、さらに各室の容量の数値のみを()内に記載すること。

15 kℓ (15,000ℓ)

(3,3,3,2,2,2)

(4) タンク検査済証(副)の「検査年月日」の欄は、タンク検査済証(正)のタンク検査番号を交付する年月日と同一とすること。

表2 タンク検査済証記載例

		例 1	例 2	例 3	例 4
構造略図	構造略図				
	注			(注1) 浮屋根(フLOATING ROOF)の浮きの種類は問わない	(注2) 浮蓋の浮きの種類は問わない
タンクの構造	形状	縦置円筒型 (コーンルーフ)	縦置円筒型 (ドームルーフ)	縦置円筒型 (フLOATING ROOF)	縦置円筒型 (ドームルーフ・浮蓋付) 又は (コーンルーフ・浮蓋付)
	寸法	内径 ○○○○mm 高さ ○○○○mm	同 左	同 左	同 左
	材質及び板厚	屋根板 **** ○○mm 側板 **** ○, ○, ○mm 底板 **** ○○mm (アニューラ板 **** ○○mm)	同 左	同 左	同 左 及び 浮蓋 **** ○○mm

		例 5	例 6	例 7	例 8
構造略図	構造略図				
	注		(注3) 下部は円錐台として容量計算		
タンクの構造	形状	縦置円筒型	縦置円筒型	縦置円筒型	縦置円筒型
	寸法	内径 ○○○○mm 胴長 ○○○○mm 鏡出 各○○mm	内径 ○○○○mm 上部鏡出 ○○○○mm 胴長 ○○○○mm 下部鏡出 ○○○○mm	内径 ○○○○mm 高さ ○○○○mm	同 左
	材質及び板厚	上部鏡板 **** ○○mm 側板 **** ○○mm 下部鏡板 **** ○○mm	上部鏡板 **** ○○mm 側板 **** ○○mm 下部円錐鏡板 **** ○○mm	天板 **** ○○mm 側板 **** ○, ○, ○mm 底板 **** ○○mm	蓋板 **** ○○mm 側板 **** ○, ○, ○mm 底板 **** ○○mm

		例 9	例 10	例 11	例 12
タンクの構造	構造略図				
	形状	縦置円筒型	縦置円筒型	縦置円筒型	縦置円筒型
	寸法	内径 ○○○○mm 胴長 ○○○○mm 下部鏡出 ○○○○mm	同 左	同 左	同 左
材質及び板厚	天板 **** ○○mm 側板 **** ○○mm 下部鏡板 **** ○○mm	天板 **** ○○mm 側板 **** ○○mm 下部円錐鏡板 **** ○○mm	蓋板 **** ○○mm 側板 **** ○○mm 下部鏡板 **** ○○mm	蓋板 **** ○○mm 側板 **** ○○mm 下部円錐鏡板 **** ○○mm	

		例 13	例 14	例 15	例 16
タンクの構造	構造略図				
	形状	横置円筒型	横置円筒型	横置円筒型	球形
	寸法	内径 ○○○○mm 胴長 ○○○○mm 鏡出 各○○○mm	内径 ○○○○mm 胴長 ○○○○mm	長径 ○○○○mm 短径 ○○○○mm 胴長 ○○○○mm 鏡出 各○○○mm	内径 ○○○○mm
材質及び板厚	胴板 **** ○○mm 鏡板 **** ○○mm	胴板 **** ○○mm 鏡板 **** ○○mm	胴長 **** ○○mm 鏡板 **** ○○mm	実状による	

		例 17	例 18	例 19	例 20
構造略図					
				(注4) 下部は角錐台として容量を計算する	(注4) 下部は角錐台として容量を計算する
タンクの構造	形状	角型	角型	角型 (下部角錐)	角型 (下部角錐)
	寸法	縦 ○○○mm 横 ○○○mm 高さ ○○○mm	縦 ○○○mm 横 ○○○mm 高さ ○○○mm	縦 ○○○mm 横 ○○○mm 側長 ○○○mm 下部鏡出 ○○○mm	同左
	材質及び板厚	天板 **** ○○mm 側板 **** ○○mm 底板 **** ○○mm	盖板 **** ○○mm 側板 **** ○○mm 底板 **** ○○mm	天板 **** ○○mm 側板 **** ○○mm 下部角錐板 **** ○○mm	盖板 **** ○○mm 側板 **** ○○mm 下部角錐板 **** ○○mm

		例 21	例 22	例 23	例 24
構造略図					
		(注5) 底板は一様傾斜	(注6) 下部の突出部がためます状の場合は無視すること		
タンクの構造	形状	縦型円筒型	角型	縦型円筒型 (ジャケット付)	縦型円筒型 (脚付)
	寸法	内径 Di mm 高さ H1~H2 mm	縦 L mm 横 W mm 高さ H1mm (一部 H2 mm) [但し L1>L2 の場合]	例5~例22と同様 (タンク本体についてのみ記載)	
	材質及び板厚	例1~例4, 例7, 例8, 例17及び例18と同様	例17及び例18と同様	同上	